

2018年6月

第93号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

少子高齢化社会を考える

少子高齢化社会については、多くの分野で様々な問題点が指摘され、特に地方においては高齢化率が急速に上昇し著しく人口減少が続く「地方創生」をどう図っていくか喫緊の課題となっている。

先般、NHK スペシャル「縮小ニッポンの衝撃」で高齢化と人口減少に喘ぐ岡山県美作市の雇用確保のため老人雇用と外国人労働者受け入れの実態について報じられていた。あまりに生々しく過酷な我が国の未来の縮図を見せられる思いがした。

5月10日長崎2区選出の加藤寛治衆院議員が派閥会で結婚披露宴の際「必ず新郎新婦は3人以上子供を産み育てていただきたい」とエピソードを紹介。早速「全日本おばちゃん党」の大阪国際大学谷口真由美准教授から「少子化を改善する立場の人が『とにかく産んで』は品が無い。女性の体を道具としか見ていない」と痛烈な非難を浴びて「発言を撤回する」という一幕があった。この非難の声を聞いて一瞬「これでは少子高齢化の問題解決は至難の業だな」と感じた。子供を産むことに対して大きな喜びや感動があるという側面や、生まれてくる「新しい生命」の尊厳を顧みず母性の温かい慈愛のようなものを感じ取ることが出来なかったからだ。

さて、少子高齢化社会、老人人口が増え続ける一方、これを支える現役世代は減少の一途を辿っている。これから、日本社会はどのような方向に進むことになるのだろうか。

1、現役世代の減少は労働力不足を招き、日本のGDPを低下させ、税収は減少する。「財政再建」はできますか。

2、老人増加は要介護者(2025年には現在より141万人増加し770万人となる)や病人が増加し年金給付とあわせて社会保障費が2040年には190兆円に達する。年金は4人で一人を支える騎馬型から1人で一人を支える肩車型になると言われており、現役世代で「社会保障費の負担」大丈夫ですか。

3、労働力不足は高齢者がもっと高齢になるまで働くことと合わせて、外国人労働者に依存せざるを得ない環境に急速に接近しつつあるが、「移民制度」を含めて労働環境の整備、文化維持の方策などの検討は充分進んでいますか。これらの少子高齢化がもたらす様々な問題は対処療法での解決は困難で総合的・抜本的解決策を模索する必要があると思う。

そして、解決策の最も重要な要素として「合計特殊出生率」の改善がある。子供の誕生が家庭でも社会においても大いに歓迎され、それを国民も行政も国を挙げて全面的に支援する社会環境の整備が求められている。

少子高齢化社会の打開策は「日本の国のかたち」を作り上げる作業でもある。

歴史観が問われている

元慶應義塾大学 名誉教授 村田 昭治

流れをつかむ 運をつかむ

経営は感じる事が大切だ。感知したことを、より深く R&D(研究開発)する。いわば、いい勘をはたらかす実業人の動物的な感覚が大事だ。それは、「流れ」をよく観察する力と予知能力といえるが、その源は幅広い学びにある。

世の中には、いくつかの流れがある。本流もあれば支流もある。泡立つ急流もあれば、せせらぎもある。そんな大きな流れ、細い流れ、さわやかな流れをうまくつかめると、気持ちがいいもので楽しくもあり、快調に仕事が進んでいく。同じようなことが人生にもいえるだろう。

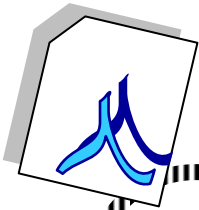
流れをつかんで、それに上手に乗ることは、運をつかむと見ることもできる。運はただ待っていて、ふっと訪れるものではない。「企業も人間も成長し、成功するには運というものがあるが、運は **はこぶ** と書くように努力、学習力、研究力、そしてパワーがなければならない」ということを、かつて東レ元会長の田代茂樹氏、帝人元会長の大屋晋三氏のお二人からうかがったことが想いだされる。

ノーベル賞を受けた日本の碩学も、異口同音にそのようにおっしゃっている。

たしかに、日本企業で、優良だ、頼もしい、バネがあるなぁと感じるところには強い意志があり、自分の途をつくっていくのだというクリエイティブ マインドとポジティブ シンキング、そして積極的な態度と旺盛なガッツが見てとれる。このガッツをつくりあげているのは、おれにやらせろという気概を社員一人ひとりが秘めているということではないか。そんな会社の経営者は夢を大切にし、流れをつかみ、人とは熱い会話を重ね、歴史観、価値観、社会観をしっかりとってリーダーシップを発揮している。

いま経営者にお目にかかって思うのは、かなり多くの方が超多忙で雑事が多いのではないかということだ。このような日常では、いつのまにか人間修練、自己練磨が疎かになって頭脳は錆ついていき、全面疲労が起きてしまうだろう。錆ついた頭脳を再活性化するのはなかなかむずかしいし、さっそうとした判断や行動は消えていく。良き先輩、心おきなく話し合える志友と、また勉強会のなかでみずからを問うてみる時間をもつなど、つねに頭脳をリフレッシュすることを習慣づけたい。

(「人を惹きつける経営」より)



加藤 清正 (安土桃山時代から江戸時代初期の大名・武将)

- | | |
|-------------------|--|
| 永禄5年6月24日(1562年) | 尾張国愛知郡中村、刀鍛治・加藤清忠の子として生まれた。 |
| 天正元年(1573年) | 秀吉の生母と母が従姉妹であった縁で近江長浜城主となった秀吉の小姓として仕えた。 |
| 天正10年4月14日(1582年) | 秀吉の冠山城攻めで一番乗りを果たし手柄を立てる。 |
| 天正10年(1582年) | 「本能寺の変」後の山崎の戦いに参戦、翌年賤ヶ岳の戦いで敵将を打ち取る武功を挙げ、3,000石の所領を与えられた。 |
| 天正13年7月(1585年) | 秀吉関白就任。従五位下・主計頭に叙任。 |
| 天正14年(1586年) | 秀吉九州平定に従い肥後北半国19万5,000石を与えられ、隈本城に入り、天正19年に大規模改修を加えて熊本城とした。 |
| 文禄元年(1592年) | 文禄・慶長の役で朝鮮に出兵。朝鮮民衆から「鬼(幽霊)上官」と恐れられた。 |
| 慶長3年(1598年) | 秀吉が死去すると徳川家康に接近。 |
| 慶長5年(1600年) | 関ヶ原の戦いでは東軍につき九州の西軍を次々に打ち破り、論功行賞で52万石の大名となった。 |
| 慶長16年6月24日(1611年) | 病名不明の病に倒れ死没。享年50歳。 |

オススメの BOOK



『未完の西郷隆盛』

著者 先崎 ^{あきなか} 彰容 出版社 新潮選書

西郷隆盛といえば明治維新の終結にあたって、江戸城での勝海舟との無血開城にこぎつけた英断、その後の廃藩置県、徴兵制など明治政府の近代化路線を推進した立役者のひとりである。

しかし、単純に西洋文明の受け入れを良しとせず、政府要人の豪華な暮らしぶりに違和感を覚え、「征韓論」を唱えるが政府内での対立に敗れ下野し、政府に反旗を翻し「西南戦争」で散ってゆく。

本書はこのような西郷の置かれた環境から西郷の理想とする思想や考え方に迫ってゆく上野の西郷さんとはちょっと違った見方が出てくる。

ドライブレコーダー(ドラレコ)に注目!



1年前に東名高速道路でワゴン車が大型トラックに追突され夫婦が死亡した事故がありました。この事故をきっかけに「煽り運転」といった威嚇行為に対する社会の関心が高まり、事故時の映像や音声を記録し、被害に遭った際の証拠となるドラレコに注目が集まりました。

そこで、ドラレコが流行っている、その必要性和メリットをご紹介します。

○事故に巻き込まれ、自分に非がなかった時
相手の信号無視や無理な割り込みなど、自分に非がない事故であっても責任を問われる事例は少なくありません。

例えば、事故の目撃者がいないケースです。自分と相手の言い分が食い違っている場合、第三者のシチュエーションを想像することが難しいのです。ドラレコが搭載されていれば、具体的な事故状況を第三者に伝えられる可能性があります。実際に、交通事故に関する民事裁判においてドラレコの映像や音声が証拠として認められたこともあります。

○当て逃げされてしまった時

中には当て逃げをし、そのまま逃走するドライバーもいます。相手を特定できる情報が見つからない場合、泣き寝入りすることになります。しかし、ドラレコの映像に相手の車が映り込んでいれば、話は大きく変わり車を特定できる可能性があります。

○当たり屋に遭ってしまった時

事故に巻き込まれてしまい、法外な損害賠償や示談金を請求する人を俗に「当たり屋」と呼びます。そんな事故に巻き込まれた場合でもドラレコによって自分に非がないことを証明できれば、責任を問われずに済む可能性があります。

○車上荒らしに遭ってしまった時

「駐車モード」に切替できるドラレコは車上荒らし対策としても活用できます。但し、ドラレコ自体を盗難されてしまうこともあるので、取付け位置や取付け方には注意が必要です。

○警察の誤認検挙防止

しっかり停止したのに一時停止違反と見なされ警察から指摘を受けた以上は、明らかな証拠がない限り言い逃れはできませんが、ドラレコの映像で抗議をすることができるかもしれません。

○自宅や自宅周辺の治安維持にも繋がる

「駐車モード」を活用すれば空き巣対策もできます。

○自分の運転特性に気付ける

ドラレコの映像をチェックすると、スピードやブレーキの頻度、車間距離など、自分の運転特性に気付くことができます。自分の運転長所と短所を知ることによって運転の安全性を高めることができます。

最近では、安全なカーライフを楽しむために自動車保険に「ドラレコ特約」をお勧めしている損保会社もあります。関心のある方は保険代理店に確認してみましょう。



東北絆祭り
2018.6.2~6.3 盛岡で開催

【編集後記】

5月は話題の多い月だった。

世界卓球選手権女子団体で銀メダル獲得。体操NHK杯で内村航平選手が10連覇。将棋の藤井聡太さんが61年ぶりにこれまでの記録を打ち破り15歳9ヶ月で最年少7段昇進。

映画界では是枝裕和監督の「万引き家族」がカンヌ国際映画祭で日本人では21年ぶりに最高賞である「パルムドール」を受賞した。

それぞれにその快挙を称え拍手喝采したい。